

タカラスタANDARD株式会社

2021年3月期

決算説明資料

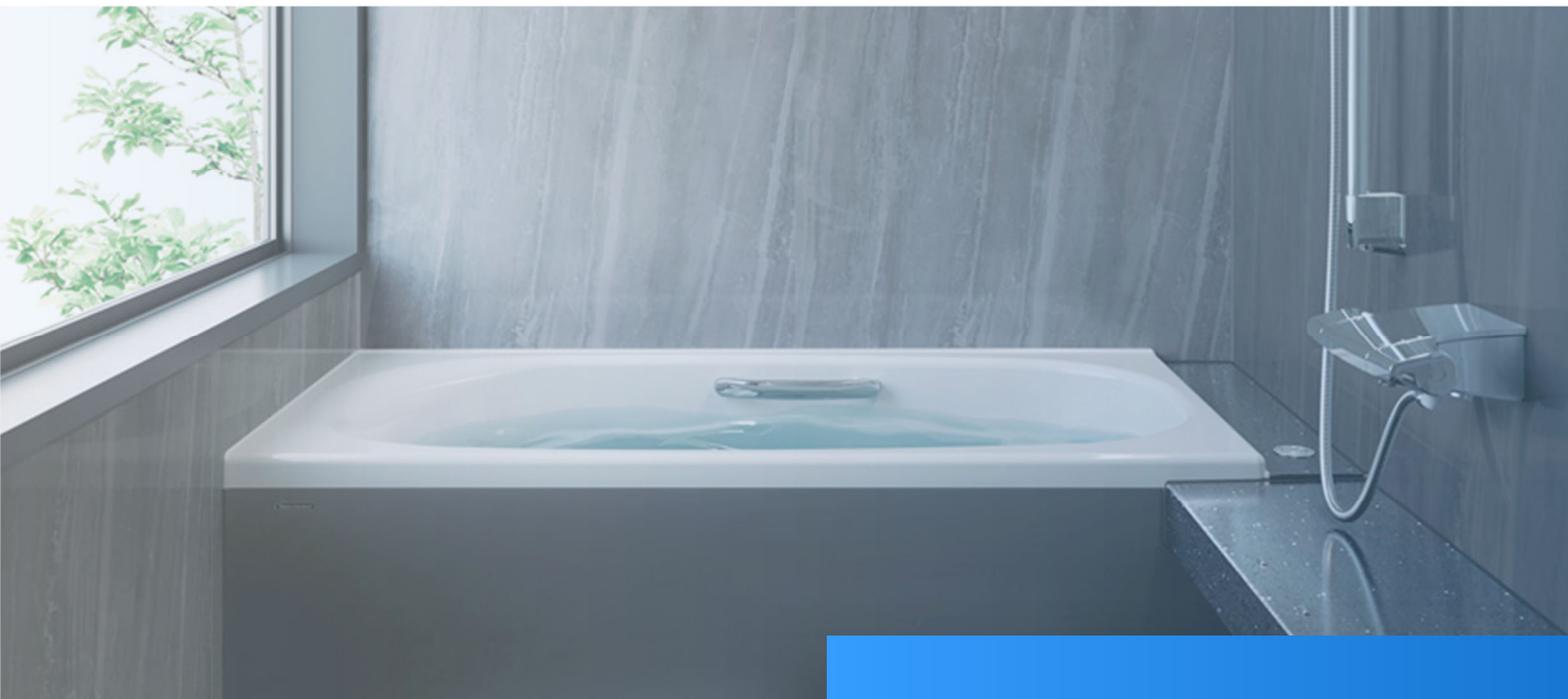
2021年5月14日

証券コード
7981

水まわりって、大切だから

Takara standard

1. 2021年3月期 決算概要 P.2～12
2. 2022年3月期 業績予想 P.13～17
3. トピックス P.18～23



水まわりって、大切だから
Takara standard

2021年3月期 決算概要

- 上期はコロナ禍の影響でリフォーム向け売上が落ち込むも、下期はリフォーム需要の拡大により大きく回復。
- 通期では減収減益となったが、売上高・営業利益ともに直近の業績予想(2月2日修正発表)を上回った。

【売上高】 1,921億円 前年同期比 4.6%減 計画達成率 101.1%

上期は緊急事態宣言に伴うショールームの閉館等、営業活動制限の影響により大きく落ち込んだ。下期は新しい生活様式の浸透に伴うリフォームニーズの拡大により、リフォーム向け売上が前年以上に伸びたが、通期では減収となった。

【営業利益】 109億円 前年同期比 13.2%減 計画達成率 111.9%

下期はリフォーム市場で洗面化粧台や浴室を中心に中高級シリーズが大きく伸び利益は回復。通期では減益となったものの計画を大幅に上回った。

経営成績

Takara standard

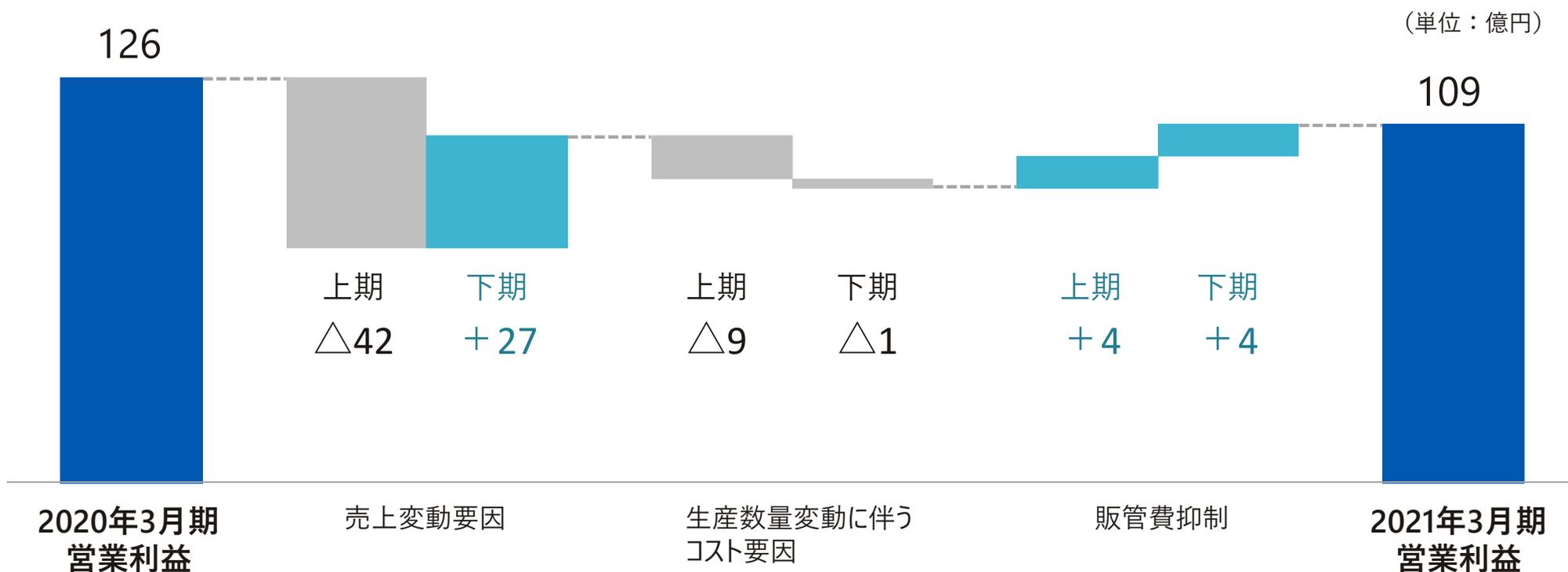
(単位：億円)	2020年3月期		2021年3月期						計画
	金額	売上比	金額	売上比	前年対比		計画対比		金額
					増減	増減率	増減	達成率	
売上高	2,015	100.0%	1,921	100.0%	△93	△4.6%	+21	101.1%	1,900
売上総利益	729	36.2%	704	36.7%	△24	△3.4%	—	—	—
販売費及び一般管理費	603	29.9%	595	31.0%	△8	△1.4%	—	—	—
営業利益	126	6.3%	109	5.7%	△16	△13.2%	+11	111.9%	98
経常利益	131	6.5%	113	5.9%	△17	△13.1%	+10	110.6%	103
親会社株主に帰属する当期純利益	86	4.3%	75	3.9%	△10	△12.2%	+8	113.3%	67
自己資本当期純利益率 (ROE)	5.3%		4.4%						

- 上期は営業活動制限の影響を受けてリフォーム向け売上が減少し、減収減益となった。
- 下期はリフォームニーズの高まりによる中高級シリーズの売上拡大に加えて、コスト削減や業務の効率化が寄与し、増収増益となった。

(単位：億円)	2020年3月期		2021年3月期			
	上期	下期	上期	増減率	下期	増減率
売上高	1,010	1,004	903	△10.6%	1,018	+ 1.4%
売上総利益	375	353	324	△13.6%	380	+ 7.4%
販売費及び 一般管理費	292	310	288	△1.4%	306	△1.3%
営業利益	83	43	36	△56.6%	73	+ 70.1%
経常利益	85	45	38	△55.1%	75	+ 66.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	58	27	25	△57.2%	50	+ 82.6%

営業利益の増減要因

Takara standard



売上変動要因	上期は比較的利益率の高いリフォーム向けが落ち込み大きな減益となったが、下期のリフォーム回復に伴い、通期では減少幅が縮小した。
生産数量変動に伴うコスト要因	上期は生産数量の減少により生産効率が悪化するも、下期は生産量の回復に伴い、コストはほぼ前年並みとなった。
販管費抑制	効率化による営業活動費の削減や、働き方改革による業務の生産性向上など経費抑制の取組みが寄与した。

- 下期に各部門の売上が回復するも、上期のコロナ禍に伴う営業活動制限の影響が大きく、通期では前年を下回る結果となった。
- 業界の出荷台数は各部門とも大きく落ち込んだが、当社は比較的軽微な減少にとどまった。

(単位：億円)	2020年3月期		2021年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	1,193	59.2%	1,154	60.1%	△38	△3.2%
浴室	449	22.3%	413	21.5%	△36	△8.1%
洗面化粧台	226	11.2%	225	11.7%	△0	△0.2%
その他共計	2,015	100.0%	1,921	100.0%	△93	△4.6%

台数増減率	
当社	キッチン・バス工業会(※)
△4.3%	△10.3%
△5.3%	△10.3%
△0.8%	△6.4%

※キッチン・バス工業会の台数増減率は、システムキッチン合計、システムバスの戸建住宅合計、洗面化粧台合計の対前期増減率を記載

【内数】

パネル関連売上	55	2.7%	52	2.7%	△3	△5.5%
---------	----	------	----	------	----	-------

製品部門別の売上高（半期対比）

- リフォームニーズの高まりにより、下期は主要3部門ともに前年同期を上回った。

(単位：億円)	2020年3月期		2021年3月期			
	上期	下期	上期	増減率	下期	増減率
キッチン	589	603	543	△7.8%	611	+1.2%
浴室	239	210	195	△18.4%	217	+3.7%
洗面化粧台	108	117	104	△4.4%	121	+3.6%
その他共計	1,010	1,004	903	△10.6%	1,018	+1.4%

【内数】

パネル関連売上	27	27	24	△11.5%	27	+0.5%
---------	----	----	-----------	--------	-----------	-------

- 新築は前年並みを確保するもリフォームは上期の落ち込みが大きく、対前年 $\triangle 10\%$ 。リフォームの構成比は 33.4% から 31.5% に減少した。

(単位：億円)	2020年3月期		2021年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
新築	1,225	60.8%	1,203	62.6%	$\triangle 22$	$\triangle 1.8\%$
リフォーム	672	33.4%	605	31.5%	$\triangle 67$	$\triangle 10.0\%$
その他	116	5.8%	113	5.9%	$\triangle 3$	$\triangle 3.2\%$
合計	2,015	100.0%	1,921	100.0%	$\triangle 93$	$\triangle 4.6\%$

市場別の売上高（半期対比）

- リフォーム向けは下期のリフォームニーズの高まりにより、前年同期を上回り 6.6%の増加。

(単位：億円)	2020年3月期		2021年3月期			
	上期	下期	上期	増減率	下期	増減率
新築	585	640	568	△2.9%	634	△0.8%
リフォーム	370	302	282	△23.6%	322	+ 6.6%
その他	55	61	52	△5.0%	60	△1.5%
合計	1,010	1,004	903	△10.6%	1,018	+ 1.4%

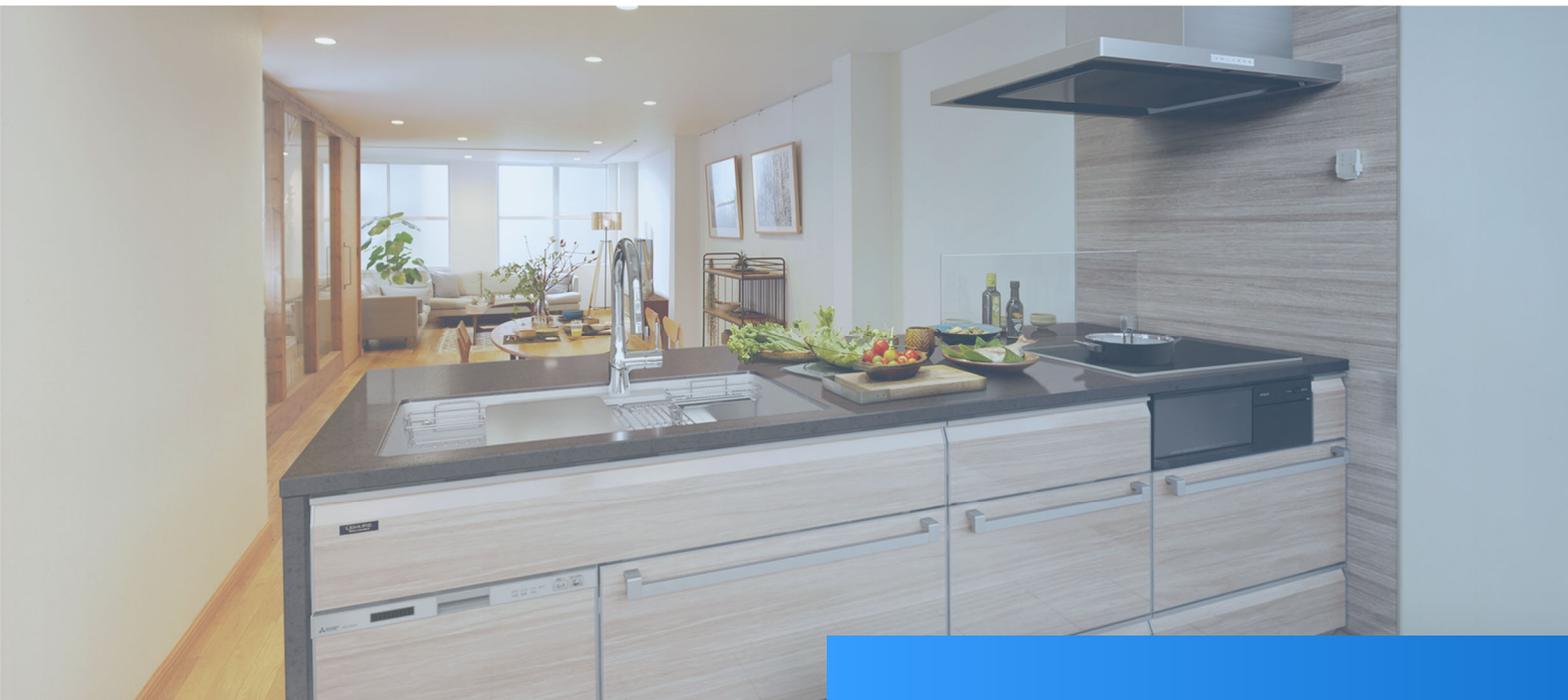
貸借対照表

- 2021年3月末の総資産は 2,586億円、前期末比 20億円の増加。

(単位：億円)		2020年 3月末	2021年 3月末	増減	主な要因
資産	流動資産	1,491	1,487	△4	
	固定資産	1,073	1,098	+24	投資有価証券 +47 有形固定資産 △10
資産合計		2,565	2,586	+20	
負債	流動負債	647	629	△17	
	固定負債	251	203	△47	退職給付信託への拠出 △50
負債合計		898	833	△64	
純資産合計		1,667	1,753	+85	利益剰余金 +49 その他有価証券評価差額金 +32
負債純資産合計		2,565	2,586	+20	

- コロナ禍の影響による売上減少や退職給付信託の設定による支出があったものの、現金及び現金同等物の期末残高は前年水準を維持した。

(単位：億円)	2020年 3月期	2021年 3月期	2021年3月期 主要内容
現金及び現金同等物の期首残高	650	746	
営業活動によるキャッシュ・フロー	170	79	税金等調整前当期純利益 109 退職給付信託への拠出 △50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50	△53	有形固定資産の取得による支出 △47 無形固定資産の取得による支出 △9
フリーキャッシュ・フロー	120	25	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24	△24	配当金の支払 △24
現金及び現金同等物の期末残高	746	747	



水まわりって、大切だから
Takara standard

2022年3月期 業績予想

- 新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せず、国内経済の先行きは不透明な状況。

新築市場

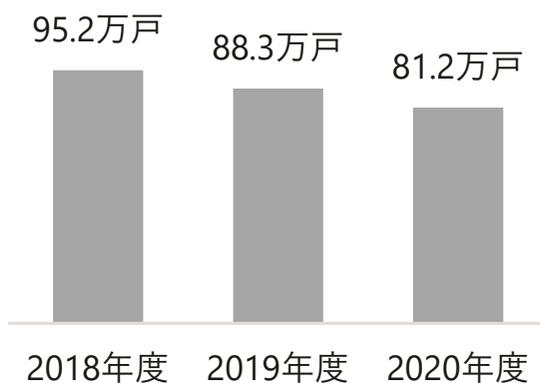
人口減少、ライフスタイルの変化により新設住宅着工戸数は縮小傾向。

リフォーム市場

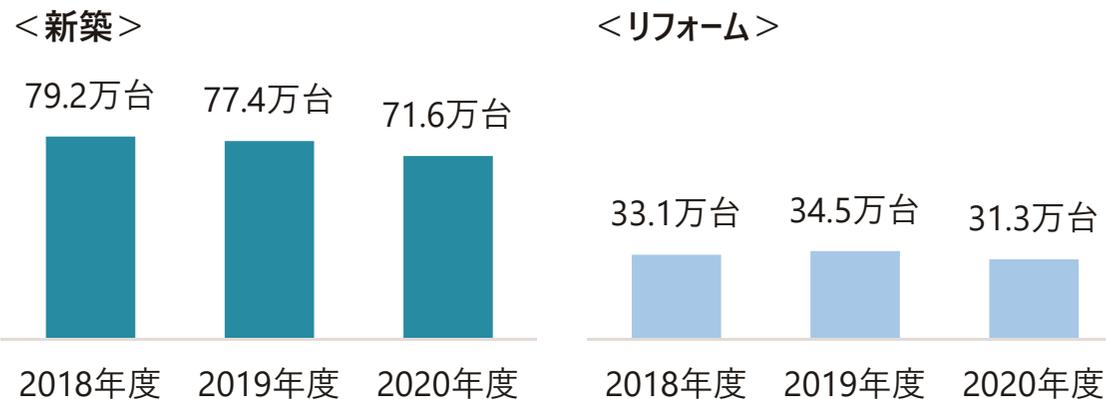
新しい生活様式に対する意識の高まりにより、底堅く推移することが期待される。

参考

新設住宅着工戸数 (国土交通省)



市場別キッチン出荷台数 (キッチン・バス工業会)

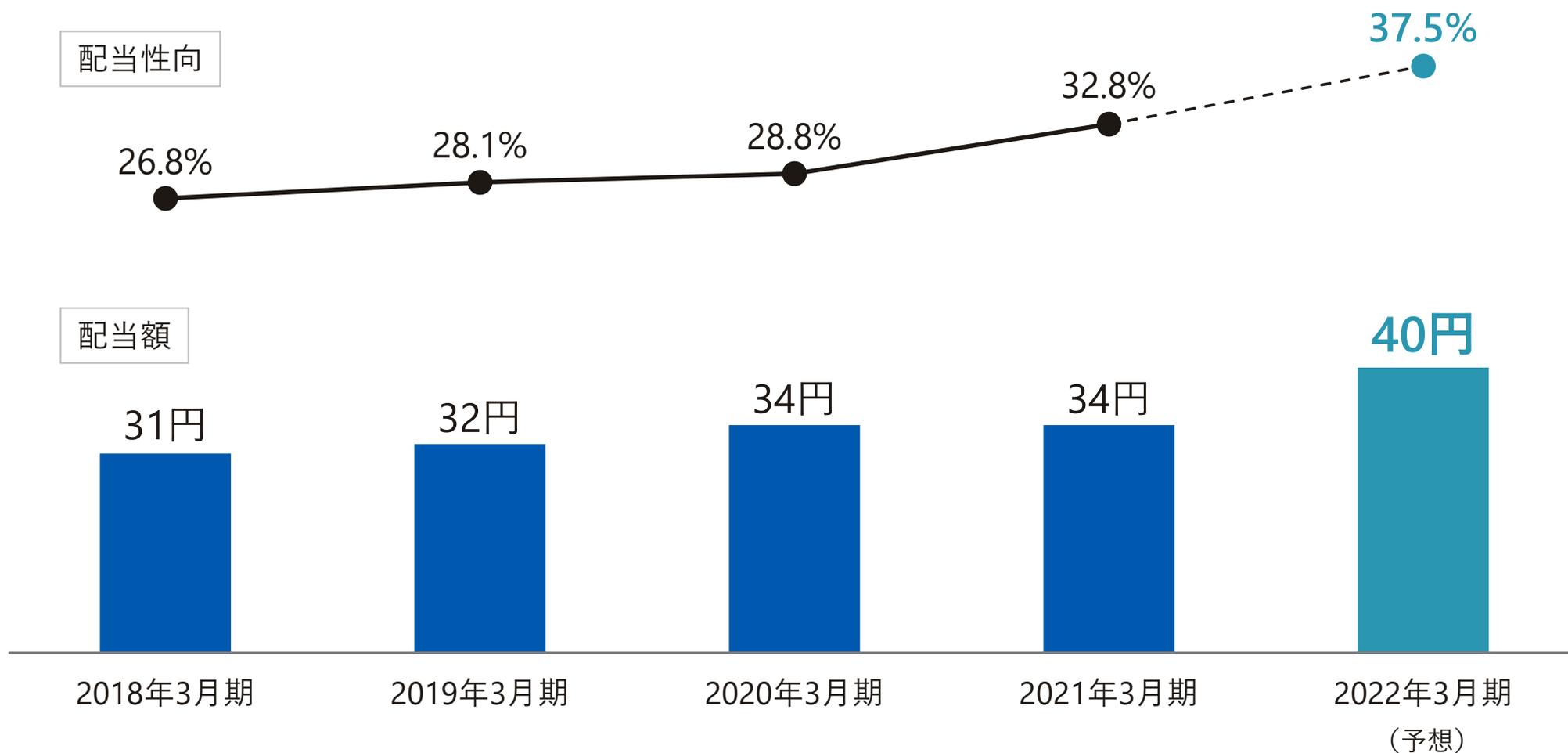


- 前年下期以降の市場動向を踏まえ、リフォーム需要の取り込みに更に注力。
- 生産性向上に向けた合理化投資や営業部門における効率化など、収益力の強化を図る。

(単位：億円)	2022年3月期	
	金額	増減率
売上高	1,943	※ +1.6%
営業利益	116	+5.8%
営業利益率	6.0%	—
経常利益	120	+5.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	78	+2.8%

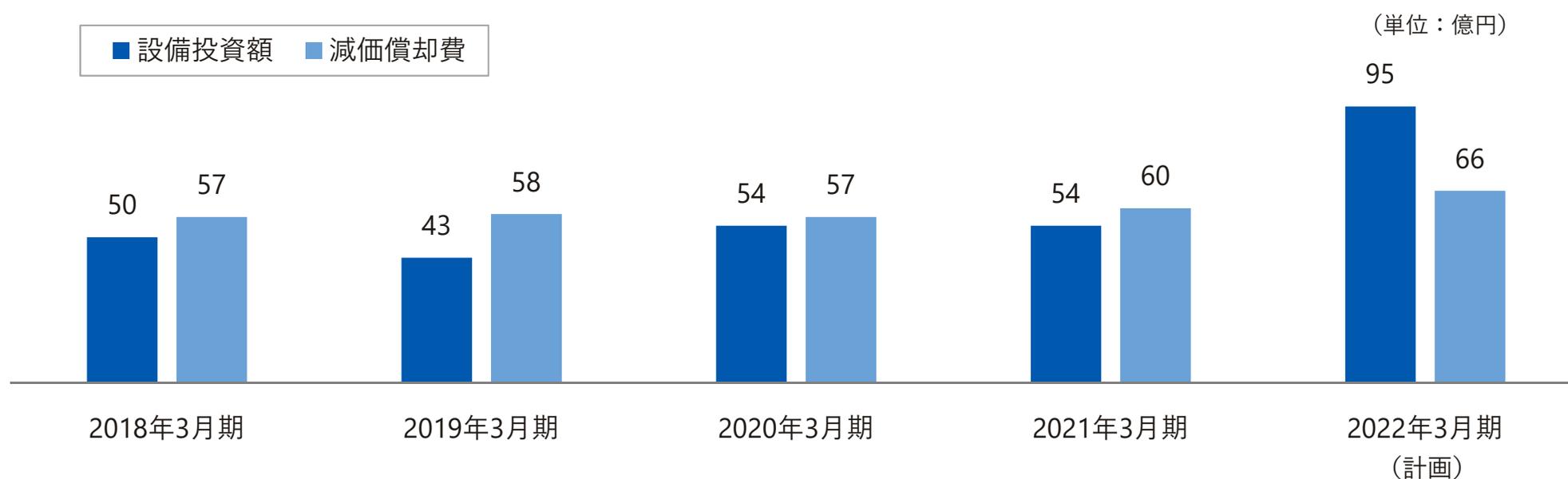
※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

- 2022年3月期の配当は、中間20円 (3円増配)、期末20円 (3円増配) とし、年間40円 (6円増配) を予定。



- 2022年3月期の設備投資は、生産物流設備の合理化・自動化への投資やIT関連投資など積極投資を計画。

(単位：億円)	2022年3月期計画	
	設備投資額	減価償却費
金額	95	66





水まわりって、大切だから
Takara standard

トピックス

- 幅広い世代のニーズに応えるホーローシステムキッチンの中級シリーズ「トレシア」(2020年2月発売) 下期はリフォーム需要を獲得し好調に推移。



■ 人気のインテリアトレンドを取り入れたデザイン性



■ ライフスタイルに合わせて選択できる充実したプランバリエーション



I型プラン



対面型プラン



- 浴室をモデルチェンジ 新たに24種類のパネルバリエーションを追加。

戸建て向け、マンションリフォーム向けの浴室パネルデザインをリニューアルし、2021年2月に発売。
新柄24種類を加え、パネルのラインナップは全部で39種類に。



ホーローインクジェット印刷という当社独自の技術により
精細なデザインを実現しました。

新築マンション専用浴室シリーズも発売



新築マンション市場における浴室シェアの向上を図るため、当社で初めて同市場向けの専用シリーズ「リラクシアMPタイプ」を2020年12月に発売。
沓摺りの高さを低くした専用架台構造を採用するなど、バリアフリー化が進む新築マンションでも柔軟な対応を実現。

• WEBコンテンツの拡充

- 360°見渡せるバーチャルショールーム
- VR機能を搭載したカラーシミュレーション
- WEB予約システムの導入



WEB活用によりショールーム来場を促進

• ショールームの充実

- 全国約170カ所に地域密着型ショールームを展開
- 各地の生活スタイルにあわせた展示を実施

2020年度

新装	青森ショールーム (青森県)	2021年3月
	佐久平ショールーム (長野県)	2020年7月
移転	草津ショールーム (滋賀県)	2020年7月
	小田原ショールーム (神奈川県)	2020年10月
	宮崎ショールーム (宮崎県)	2020年10月
リニューアル	浜田ショールーム (島根県)	2020年10月
	高知ショールーム (高知県)	2021年3月

青森ショールーム



小田原ショールーム



高知ショールーム



- ホーローならではの高い耐久性・清掃性・利便性・デザイン性により、住宅、非住宅を問わず様々なシーンにご活用いただけます。

住宅空間の施工例

リビング



子供部屋



非住宅空間の施工例

駅の外壁



会議スペース



マンション エントランス



トイレ



- 水分や汚れ、熱、衝撃に強い「ホーロー」を訴求し、アジア各国にて販売活動を展開。

<ベトナム> ベトナム最大級の建築系展示会「ベトビルド2020」に出展



<タイ> 大型賃貸物件にシステムバスを納入



<IRお問い合わせ先>

タカラスタンダード株式会社

管理本部 財務部

TEL 06-6962-1502

E-mail zaimu@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

Takara standard

本資料は、2021年5月14日現在の計画に基づく予測が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。